

第 4 回 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和 7 年 4 月 2 日（水） 午前 9 時 00 分から正午まで
開 催 場 所	南区役所 7 階 701 会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 八森 淳（株式会社メディコラボ研究所代表取締役） 委員 加藤 倫子（永田みなみ台地区社会福祉協議会会長） 山本 裕子（南永田山王台地区民生委員児童委員協議会会長） 深澤 幸子（南区老人クラブ連合会副会長） 高木 俊正（地域活動ホームどんとこい・みなみ施設長） 光永美代子（南区主任児童委員連絡会副代表） 佐々木哲夫（税理士法人 TOS 佐々木会計代表理事・税理士） 【事務局】 南区福祉保健センター担当部長 鈴木 陽子 南区福祉保健課長 御小柴 朋子 南区福祉保健課事業企画担当係長 森山 梨香 南区高齢・障害支援課高齢者支援担当係長 野口 智子 南区福祉保健課事業企画担当 加藤 崇史、尾澤 悠菜
欠 席 者	あり（委員 平戸 善久（南区連合町内会長連絡協議会監事）
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者 0 人）
議 題	1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 （1）応募団体の面接審査 （2）本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 3 指定候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市南区長に報告することとする。 1 横浜市大岡地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会事業協会 次点候補者：なし 2 横浜市六ツ川地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜太陽会 次点候補者：なし 3 横浜市中村地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人秀峰会

	次点候補者：なし 4 横浜市陸地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人たすけあいゆい 次点候補者：なし
議 事	1 事前確認事項 (1) <u>委員会の公開・非公開</u> 応募団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第3回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、当該施設の他の応募団体を除き公開。 (2) <u>面接審査の進め方について</u> (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 (委員) ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 (3) <u>応募団体の資格要件等について</u> (事務局) ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 2 応募団体の面接審査 (1) 面接審査 ア 横浜市大岡地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 財務状況について、令和4年度の決算にて赤字を計上しているが、その理由を教えてほしい。 (団体) コロナ禍においてクラスター等が発生したことにより、各施設の利用者が減少したためである。現在は利用者回復傾向にあり、収益も回復の見通しである。 (委員) 収益回復のための対応策を教えてほしい。 (団体) 更生施設の定員を引き下げることで、報酬単価が上がった。また、大きく赤字を計上していた多機能型拠点についても、利用者が充足し

	つつある。 (委員) デジタルを活用した介護予防体操事業に取り組んでいるとの説明があったが、高齢者に対し、オンライン参加方法等についてどのように説明しているのか。 (団体) マタニティヨガ事業では既にオンラインを取り入れているが、介護予防体操では今後取り組んでいく予定である。高齢者でも、徐々にデジタル機器を使える人が増えていくことを見越して取組を始めるものであり、今後、デジタル機器の操作方法の講座等も開催しながら進めていく予定である。 (委員) チームオレンジの取組状況を教えてほしい。 (団体) チームオレンジ事業開始1年目(令和5年度)に、手上げし先行的に実施したが、新規取組を始めるというより、今までの取組がチームオレンジの取組となるとの認識を持ったため、2年目(令和6年度)は手を下ろしたが、3年目(令和7年度)からは取組が必須化された。今後は、町全体として認知症の理解を深めていくことを目指し、そのための拠点的な場や地域住民が集まることができるような場所を作っていきたいと考えている。今後は、商店街の空き店舗やスペースの活用も含め、協議していく予定である。 (委員) 団体として、障害分野にも力を入れているかと思うが、地域ケアプラザとして、障害分野に関し取り組んでいることはあるか。 (団体) 合築施設と合同の取組として、地域の特別支援学校を対象に、職業体験学習等を実施している。地域ケアプラザの独自の取組として、サロンに特別支援学校の生徒に参加してもらい、クイズ大会等を実施している。また、障害者施設製品の販売のために施設内のスペースを提供している。 (委員) 地域ケアプラザの夜間利用の頻度を教えてほしい。 (団体) 月の半分以上は夜間を開館している状況である。 イ 横浜市六ツ川地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) プレゼンテーションの中で、元気な高齢者が多いという数字が示されていたが、地域ケアプラザとして何か取り組んでいることはあるか。 (団体) 地域ケアプラザが丘陵地に立地しており、来所するのが大変なエリアでもあることから、各地域で行われている自主活動等を積極的に広報しているため、いずれの活動も参加率が高い状況にある。
--	---

	(委員) 地域ケアプラザの職員配置について、過去３年間、欠員を一度も出していないが、人材の定着に向け、どのような取組をしているのか教えてほしい。 (団体) 地域ケアプラザの職員の話に都度、耳を傾けるよう心がけている。 ウ 横浜市中村地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 障害分野への取組の説明が充実していたと思うが、力を入れるようになったきっかけや経緯を教えてほしい。 (団体) 地域ケアプラザは、高齢者だけではなく誰もが利用できる施設であるため。また、中村地区の圏域内に、障害関連施設（法人型地域活動ホーム・地域活動支援センター・特別支援学校等）が立地しており、地域において広く知ってもらうことや施設間連携を目指し、取り組んでいる。 (委員) 地域等で実施されているサロンの取組の開催頻度を教えてほしい。 (団体) 地域ケアプラザ主催で「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催している。障害者施設によるパンの販売と同時に開催しており、来場者も多い状況である。 また、地域主催のサロン等で現在活動されているのは、４か所あり、地域ケアプラザの職員が毎回参加している。 (委員) 地域主催のサロンの数は、以前と比べ減少したか。 (団体) ピーク時は１０か所程度の活動があったが、担い手不足等の課題により減少している。コロナ禍で活動が０か所となった時期もあるが、現在は４か所のサロンが活動している。 (委員) 今後は新たな立ち上げ、または活動の見直しを行っていくことになるのか教えてほしい。 (団体) 現在新たに、特別養護老人ホームの場を活用したサロンの立ち上げなどの話がある。 (委員) 地域の子どもに関するイベントの取組状況を教えてほしい。 (団体) 中村地区は年少人口率の低いエリアではあるが、子どもが集まるイベントは多く開催されている。七夕やクリスマスでのイベントには、毎回数百人の子どもが参加している。また、幼稚園児を地域ケアプラザに招き、地域の音楽ボランティアによるコンサート等も開催している。 (委員) 地域ケアプラザの職員配置状況について、地域交流コーディネーターや保健師の欠員が生じているが、地域ケアプラザ内でどのようにカ
--	---

バーしているのか。

(団体) 地域ケアプラザの欠員の生じた時期があったが、現在は欠員なく運営できている。

エ 横浜市睦地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) これまでの指定管理業務の中で、特に力を入れてきた取組等があれば教えてほしい。

(団体) 連合町内会単位で取り組んでいたものについて、町内会ごとの特色を重視した取組など、活動が円滑に進むよう、地域の人に寄り添いながら支援を実施している。

(委員) 地域で実施している子ども食堂について、どれぐらい利用者が集まっているのか教えてほしい。

(団体) 子ども食堂では毎回、40～60食程度用意しており、貧困層だけにターゲットを絞っているわけではなく、近隣の学校にも声かけをするなどの広報を実施している。

また、コロナ禍においては弁当配布のみであったが、現在は会食形式の食堂を再開して実施している。

(2) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

事務局より本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

佐々木委員より財務分析結果報告書について説明。

3 指定候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市大岡地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補 者	社会福祉法人 横浜市社会事業協会	1,312／1,675 点	1,264／915 点
次点候補 者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は、地域との連携が具体的に進められており、地域の特色である、商店街との連携事業など、地域密着性が高く、地域と連携した取組や、地域との関係づくりを進めることが出来ていると感じる。また、合築施設であるという特色を生かし、他施設と連携した取組の点も評価できる。

特に、特別支援学校との職業体験の機会を提供できているのが良いと感じた。高齢者だけではなく、障害者に向けた取組にも、引き続き取り組んでほしいと思う。その他にも、マタニティヨガなどのオンラインでも参加できる取組については、家から出るのが困難な人に対してもアプローチができるため良いと感じた。

(2) 横浜市六ツ川地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜太陽会	1,370／1,625 点	1,265／885 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は、地域に根差した取組が充実しており、地域との関係づくりが丁寧に行われていると感じた。また、地域の課題分析や地域診断を軸とし、地域にとって必要なことを事業化していることも評価できる。

また、地域ケアプラザの職員定着率が高く、地域ケアプラザ内のチームワークが良いと感じられた。広報紙での発信内容についても、楽しみながら取り組んでいることがよく伝わり、評価できる点である。

(3) 横浜市中村地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 秀峰会	1,156／1,600 点	1,148／870 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は、地域の各種団体の情報をきめ細やかに把握できていると感じられた。また、子どもから大人まで、障害児者を含めた取組や認知症に関する取組など幅広く行われていることは評価できる点である。その他にも、地域の団体の力を上手く活用しながら自主事業に取り組んでおり、障害児者に対する取組も盛んであり、応募団体の理念として大切にしている点も評価できると感じ

られた。

(4) 横浜市陸地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補 者	社会福祉法人 たすけあいゆい	1,087／1,600 点	1,054／870 点
次点候補 者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は、子ども食堂の毎週実施や、移動スーパーの実施など、地域に根差した取組を行っており、子どもや障害児者への取組を積極的に展開していると感じられた。一方で、プレゼンテーションにおいて、新たな事業への取組状況や内容等が上手く伝わるような工夫があったら更に良いと感じられた。

各応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市社会事業協会他を指定候補者として選定することを決定する。

資料
・
特記事項

1 資料

資料 1 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員・事務局名簿
資料 2 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱
資料 3 横浜市南区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱
資料 4 指定管理者審査方法・採点方法・最低制限基準・得点等について
資料 5 応募団体の財務状況に係る税理士からの意見書

2 特記事項

特になし